

# 登別中学校 学校適正配置に関する地区別検討委員会 第8回教育環境部会 議事録

**日時** 令和4年10月19日（水）18時00分

**会場** 登別市婦人センター講堂（2F）

**出席者** （委員）

飯尾委員、関川委員、勝間委員、日野委員、坂井委員、斉藤委員、畠山委員  
（事務局）

堀井部長、中島参与、近間総括主幹、蓬田主査

**○部会長** 時間となりましたので、これより「登別中学校 学校適正配置に関する地区別検討委員会」の第8回教育環境部会を開催したいと思います。

前は、私の方から、教育環境部会における議論の総括ということで、これまでの議論を積み上げる形で、この部会のまとめの案をお示しました。皆さんからは色々意見をいただきました。そのうち「統合」ではなく「校区拡大」という言葉を使うべきとの意見に関しては、その趣旨を一部修正に反映しつつも、校区を拡大するという表現では、一般的に分かりにくい部分がありますので、「統合」という言葉を一部残しております。

一方、結論部分に関しては、語調が強過ぎるのではないかとの意見がありました。これについては、「望ましい」という言葉で締める形で修正しております。

また、統合の年度に関しては、年度を区切る必要はないのではとの意見をいただきましたが、必要があれば年度を延ばすべきなのは当然ですが、いまの子どもたちの状況を考えれば、まずはたたき台として、令和7年度という年限を示すべきと考え、年度を明示する形としております。ただ、限定的な言い方ではなく、「目途に」という言葉を入れることによって広く捉えることが可能な書きぶりになりました。

これらの結果、結びの文章としては、「教育環境部会としては、令和7年度を

目途に、登別中学校と幌別中学校の校区を一つにする（統合する）ことが望ましいものとする」としました。もしよろしければ、統合時の条件の話に入りたいと思いますが、皆さん、いかがでしょうか？

○委員 一つよろしいでしょうか。部会長の方で作っていただいた、まとめ案の他に、事務局の方では、議事録を作成しているということでもよろしいでしょうか？

○事務局 作成しています。

○委員 議事録については、部会員の要望があれば、提供を受けられるということでもよろしいでしょうか？

○事務局 もちろんです。そのような考えで調製しています。

○委員 続けて話してよろしいですか。教育環境部会の方では、やるべきこと、やれることはほぼ終わったという認識で、これについては、私も同じ思いです。ただ、今後、地区別検討委員会本体での議論になった際には、それぞれの立場により、所属する部会での意見やまとめからは少し意見が変わることも想定されると思います。そうしたこともあるので、統合に反対する意見などが明記されている議事録を調製してもらい、確認したいと思っていました。機会があれば、その内容を見せていただければと思います。

○委員 事務的な話になってしまうんですが、まとめ案の結びの文書に「令和7年度を目途に」という文言がありますが、統合には準備期間が必要になると思います。仮に令和7年度に統合するとした場合、何年前に正式に決定していなければならないのでしょうか？

○部会長 目途とする年度については、教育委員会のグランドデザインで令和7年度という目安が示されていましたが、保護者からは早く決定して欲しいという声も聞こ

えていましたので、「令和7年度」を目途にすることとしました。環境整備に時間を要することなどがあれば、8年度、9年度というように、年度を延ばすのは当然だと思っておりますが、話を前に進めるためにも、年度を示すべきと考え、まずはグランドデザインで示された令和7年度を目途にしたところです。

**○事務局** 事務的な話で補足させていただきますと、統合には少なくとも2年間は準備期間が必要になります。仮に令和7年度の4月に統合となれば、令和6年度の1年間を通じて、生徒同士の交流事業を実施、さらにその前年度、令和5年度には、両校関係者が集まって、統合にあたっての詳細、環境整備の部分などを話し合うこととなります。その中で、令和6年度に実施する交流授業の年間計画を策定することにもなりますので、仮に令和7年4月に統合する場合には、令和4年度中には、統合自体が正式に決定している必要があるかと思えます。

**○委員** ありがとうございます。ということは、正式決定の時期がずれ込んだ場合には、統合時期もそれによって後ろ倒しになるという理解でよろしいでしょうか。正式決定の時期がずれ込んでも、例えば交流事業の期間を短縮して、統合時期は変更しないということではないですよね？

**○事務局** 教育委員会としては、統合の準備期間には少なくとも2年間は必要と考えております。

**○委員** ありがとうございます。

**○部会長** まとめ案の中では、確かに年度を明記しましたが、あくまで頭出し的な意味合いであって、準備期間がさらに必要であれば統合時期は延びるものだと思っておりますので、そのあたりは柔軟に考えていただければと思います。部会としてのまとめについては、よろしいでしょうか？

(異議なしの声あり)

**○部会長** では、議案二つ目の「(2) 校区拡大(学校統合)に向けた基本的条件について」に移ります。前回も少し出ていましたが、項目やその内容に関して、事務局で資料を用意しておりますので、まずはこれについて説明を受けたいと思います。事務局、お願いします。

**○事務局** (事務局より資料に基づき説明)

**○部会長** ありがとうございます。内容としては、資料①「通学方法・通学手段」については、次回、詳細を議論して、その結果を条件に位置付けることとし、資料②～⑤については、統合決定後に、両校関係者で組織する新たな委員会で協議すること自体を条件にするということで提案がありました。これに関し、皆さんから質問や意見を受けたいと思いますが、いかがでしょうか？

**○委員** 特色ある教育の取り扱いに関しお伺いします。おそらく幌別中学校としても、学校独自の取組を行っていることと思いますので、校長先生や教頭先生から、それらに関しお話を伺うことができればと思います。協議すること自体を条件にするということになりますと、協議でまとまらない場合には、多数決で決することになり、その結果、人数の少ない登別中学校側が妥協せざるを得ない状況が出てくるかもしれません。そもそも登別中学校の特色ある教育を引き継いでいく余地があるのかを確認する意味でも、幌別中学校の現状について聞いてみたいと思います。

**○部会長** 事務局、お願いします。

**○事務局** 仮に統合するとしても、登別中学校が幌別中学校に吸収されるということではありませんので、登別中学校の取組がまったく引き継がれないということにはならないのではないかと思います。例えば、幌別小学校との統合が決定した幌別東小学校の例をとれば、本年度、両校関係者が参加する委員会において、特色ある

教育の継承などについても協議しておりますが、協議の結果、統合後の幌別小学校でも、東小学校で取り組んできた「幌別駒おどり」に引き続き取り組んでいくことが決定しました。また、登別中学校と温泉中学校の統合の例を見ても、温泉中学校で取り組んできた「熊舞」が登別中学校に引き継がれ、代わりに登別中学校の伝統であった「立志式」の取組が無くなった経緯がありますので、まさに両校の話し合いで決していくことになろうと思います。委員がおっしゃるように、両校関係者で協議して決めていくことになりすし、コマ数にも上限があるわけですから、結果として、どのようなことになるか分からない部分があるのは確かですので、統合にあたっての条件としては、協議すること自体を条件化することになろうかと思っています。

○委員 わかりました。幌別中学校の先生方に話を聞くことはできますか？

○事務局 部会でということでしょうか？

○委員 日程的な問題もありますので、部会でできるかはわかりませんが、統合の相手方である幌別中学校のことをよく知っておきたいという意味合いもありますので。

○事務局 基本的条件にどのような形で書き込むかは別として、幌別中学校の状況を参考として聞いていただく場を設けることはもちろん可能だと思います。

○部会長 相手がある話ですので、事務局としては協議すること自体を条件にするとはか言えないと思いますが、私としては、熊舞にしても、鬼みこしにしても、統合後も是非引き継いで欲しいと思っていますし、両校関係者で協議する際には、我々が希望することをすべて受け入れてもらう位の気持ちで臨まなければならないと思っています。そうした意味で、委員がおっしゃっているのは、相手方と交渉する際の手法の話なのかなと思いますので、これについては、私たちだけではなくて、様々な人達からアイデアを聞いて臨まなければならないと思います。少し

話が広がってしまいますが、環境整備の話で言えば、交通手段にしても、休日も校区内を行ったり来たりできるパスを出してもらえないかだとか、様々なアイデアがあるかと思います。その他、校歌だとか校名だとかも含めて、この場で様々な項目を出し合えばいいと思います。

**○委員** 私も、部会長が言ったのと同じように、協議自体したくないという気持ちです。私たちが要望することをすべて受け入れてもらう気持ちで臨まないで、負けてしまうと思いますので。やはり熊舞や鬼みこしは、他の学校にはない特色だと思いますし、例えば札幌の学校では絶対にはないものだと思いますので。話が少しずれてしまいましたが、基本的な条件について教えてください。この地区は、子どもたちと地域の距離が非常に近いと思っているのですが、統合ということになれば、子どもたちの様子が見えにくくなったりだとか、学校の状況が見えづらくなったりということが出てくると思います。その時に、この地区の子どもたちが集うサロンのようなものを作ることはできないのでしょうか。児童館はありますが、小学生だけでしょうし。

**○事務局** 児童館については、高校生まで受け入れています。

**○委員** 児童館が中学生も受け入れているとしたら、児童館で心のケアを受けることができるようにしたり、児童館でないとでも、悩みを気軽に話すことができたりする場をこの地区に作ることは可能なのでしょうか。仮に中学校がこの地区から無くなってしまったら、中学生が集まる場、ケアする場も、現在の幌別中学校区のみということになってしまうのか。この地区にそうした中学生が集まることのできる場所を作る予定はないのでしょうか？

**○事務局** 行政の取組として、登別地区に中学生が集まれるような場所を新たに作るというイメージでしょうか。それとも、地域の取組としてということでしょうか？

**○委員** 行政です。

**○事務局** 現段階では、行政の取組として、子どもたちが集まることができるような枠組みをこの地区で新たに作るというようなことは想定していません。

**○委員** これまでは、親同士が先輩、後輩の間柄にある中でしたので、どんな子どもたちが居るのか、どんな友達が居るのかということも分かっていたわけですが、中学校が無くなってしまうと、子どもたちと地域の繋がりが薄くなって、その結果、子どもたちの顔も見えなくなってしまう。その状況を何とかすることはできないかという思いです。

**○事務局** 委員のご指摘は、地域と子どもたちの繋がりをどう保っていくのか、地域と子どもたちの距離感をどうとっていくのかということだと思います。これについては、行政が仕組みを作るというよりは、地域の方たちが、どのような仕組み作りをするのかという方が大きいのではないかと思います。例えば、幌別東小学校区では、地域の方たちが、地域食堂ゆめみ〜を中心に、子どもたちが集まることのできる場を作って活動しています。行政の責任を回避するということではなく、地域の取組として考えるのがより相応しい種類の話かなという気がします。

**○委員** 地域で取り組むとして、どこでそうした話を広げていけばいいのでしょうか。この部会でということになるのでしょうか。まちづくり部会ではないですね。

**○部会長** 私としては、単に学校が一緒になるということではなくて、地区拡大だと思っています。温泉地区、登別地区、幌別地区が、これを機にひとつの地区になるイメージで進んでいければと思っています。登別地区の人たちは幌別地区に距離感を持っていたり、温泉地区の人たちもやはり距離を感じていたりするわけですが、学校がひとつになることをきっかけに、地区がひとつになって、私たちの意識も変わっていけばいいと思っています。そういう意味では、子どもたちだけではなくて、大人たちも従来の地区をまたいで活動するようになればいいと思っています。

すし、そうすることによって、10年後、20年後には、子どもたちの意識も変わってくるものと思います。そのためには、子どもたちだけではなくて、大人にもバスの無料パスを配るとか、私たちがやっている豆まきや餅つきといったイベントをこの地区だけではなくて、幌別地区でもやってみるとか、様々な取組を重ねていく必要があると思います。

**○事務局** 例えば、市の事業として、市内の各町内会が地獄まつりの鬼踊りに参加する取組を行っていますが、その目的のひとつはまさに地域の一体感を生むことだと思います。そういう意味では、学校統合を機に、温泉地区、登別地区、幌別地区の一体感をうむような事業を考えてもいいのではないかと思います。ただ、それは行政だけでできることではありませんので、例えば3地区の子どもたちが参加するイベントを企画するとか、地域もともに考えていかなければならないことだと思います。単に学校をひとつにするだけではなくて、地域の一体感を生むための取組を要望していくということもひとつなのかなと思います。

**○部会長** 今日、明日中等教育学校の1年生が地域ウォッチングで温泉に来たのですが、色々な話を聞いていると、クマ牧場も行きたいし、時代村も行きたいし、マリンパークも行きたいし、温泉街のお土産屋さんも見たいけれど、交通費の問題があるということで、学校がひとつになって、交友範囲が広がることを考えても、移動のための何らかの措置は必要かなと思います。また、私たち大人の取組にしても、鬼花火は開始から17年になり、登別地区や幌別地区の人たちにも協力してもらっていますが、手伝うのではなくて、自分のものとして参加する意識が強くなってきているのかなと思います。逆に、私も、登別地区のわくわく広場や幌別地区の夏祭りに協力しなければならないという意識が出てきていますので、こうしたことを続けることによって、地域の一体感が生まれてくるのだと思っています。

**○委員** ありがとうございます。やはり話し合わなければならないことがたくさんあるように思います。さきほど委員からもあったように、幌別中学校の状況が見えて



こないのも気になっています。幌別中学校としては、限られた時間の中で、色々工夫されて、特色ある取組をされていることと思います。私たちが幌別中学校の状況について理解する必要があるのか自体、わからないところはありますが、今後、学校間で具体的な話をしていくためにも、知っておきたいという気持ちはあります。どうなんでしょうか？

**○事務局** 幌別東小学校の例をとれば、昨年度中に統合を決定し、今年度、両校関係者で組織する新たな委員会で具体的な話を進めているところです。よって、仮に統合となれば、登別中学校と幌別中学校のケースでも、委員がおっしゃるような、学校間の具体的な話は、統合決定後に次のステージで行うことになろうかと思えます。ただ、統合決定後に具体的な話を進めるにあたって、幌別中学校の状況を知っておきたいということであれば、統合にあたっての条件をどう設定するかとは別に、そうした場を設けることは可能かと思えます。

**○委員** 委員の話を聞いて、本当にその通りだろうと、統合に向けた具体的な話を進めるにあたって、事前に幌別中学校の状況を知っておきたいというのはもっともだと思いますが、話を聞いてしまったら、統合を容認したようにもとられかねないので、現段階では、幌別中学校の1年間の行事表を貰っておくということもできるのかなと思います。もう一点、お隣の室蘭市では、学校統合をかなり進めています。その際に最も問題になったことは何だったのか、知ってみたい気はします。

**○事務局** 室蘭市の場合、本市のように、意思決定前に保護者や地域の皆さんの意見を聞いてということではなく、行政の方針を表明した後に、説明会を行うといった手法で行っている、ある意味、行政主導で進めているものと思いますので、学校統合の際に、当事者である両校間で問題になったことというような話は聞こえてきていません。

**○部会長** 今の段階では、学校をひとつにする、校区をひとつにする上で、譲れない点を

すべて出した方がいいと思います。相手方の受け入れが難しいだろうとかは気にせず、制服だったり、校名だったり、校歌だったり、スクールバスだったり、テーマにしたい項目をとにかく出していった方がいいと思います。

**○委員** 本当にその通りで、幌別中学校とひとつになれば、いまの登別中学校に人が通わなくなるということは事実なので、そうした中で、登別中学校の遺伝子、校名なのか、校歌なのか、制服なのか、資料なのかは分かりませんが、相手側がどう考えるかは別にして、様々な思いがあると思いますので、話し合うべき項目はすべて出した方がいいと思います。温泉中学校と登別中学校の統合の時、そうだったように、やはり両校の関係者には精神的な距離感があると思いますので、そうした中で上手くやっていくためには、自分たちが要望すること、話し合いたいことを明確にすることが必要だと思います。委員の話にもあったように、登別地区は子どもたちと地域の関わりが濃い地域なので、その関わり合いの深さと広さをどう残していくか、もっといろんな人の話を聞くのもいいと思いますし。進め方としては、部会長がおっしゃった方向でいいと思います。

**○委員** 吸収じゃなくて統合だとすれば、校名を変えることは可能なのでしょうか。幌別中学校に編入されるとなれば、やはり吸収されるイメージがありますし、校名がそのままだと、特色ある教育などに関しても、幌別中学校の取組に飲み込まれるイメージになりやすいと思います。であれば、校名を変える方向で統合することを前提に話し合うのがいいように思うのですが。

**○部会長** 私がしゃべった方がいいと思うで私がしゃべりますけど、相手方があることなので、事務局としてはなかなか難しいのではないかと言うかもしれませんが、協議して欲しい事項には、できないは関係なく、校名とか校歌とか、要望したいことをどんどん挙げていった方がいいと思います。

**○事務局** まさに、例えば、温泉中学校と登別中学校が統合した際の資料を見ますと、校名や校歌についても両校協議の議題に挙げ、結果として、登別中学校の校名と

校歌を継続して使用するということを決定していますので、皆さんが必要と考えるのであれば、今回も同じように協議のテーマに挙げていけばいいと思います。特に校名については、両校関係者の間でかなり厳しい議論になることも予想されますが、結果的にどうなるかは別として、協議項目としては、皆さんが必要と考える事項をどんどん挙げてもらえばいいと思います。

**○委員** 委員がおっしゃったように、吸収合併されるのではなくて、新しい学校を作るくらいの意気込みで、どんどん協議項目を挙げていけばいいと思います。私としては、校歌も作ってもらいたいと思っています。そうした意味でも、具体的な話し合いに入れるように、一応は令和7年度を目標にしていけばいいのかな。その方が早い時期にいろんな話ができると思います。

**○委員** これまでの話からすると、まず校名については、統合の条件として協議対象にすべきかと思います。校歌についても、1番目を幌別小学校のものにして、2番目を登別中学校のものにするなど、様々な方法があるとは思いますが、同様に協議対象にした方がいいのかなと思います。また、教育目標についても、統合にあたって、両校が協議しなければならないでしょう。もう一点、登別中学校は温泉中学校と統合し、現在の形になっているわけですが、統合の際には、登別中学校が引き継いだ温泉中学校の歴史や財産とともに幌別中学校に引き継がれることになるのか。その部分を確認したいのですが。

**○事務局** 登別中学校が温泉中学校から引き継いだものについては、もともとの登別中学校の財産と同じく、統合時の両校の協議において、引き継いでいくべきものを話し合っていくことになろうかと思います。

**○委員** 最後に一つだけよろしいですか。温泉中学校と登別中学校の統合の際には、熊舞ももちろんなんですけど、当時の温泉中学校の子どもたちが一生懸命やっていた部活を残したいという思いがあったのですが、結果として、登別中学校には引き継がれなかった経緯があります。ですので、両校で協議するにあたっては、幌別

中学校にとってメジャーかマイナーということではなくて、登別中学校の子どもたちの思いを汲み取った上で話し合いに臨むことも必要かと思います。

**○部会長** ありがとうございます。ここまで統合の条件として、協議すべき項目について話し合ってきましたが、このような形で教育環境部会として協議が必要と思われる事項をどんどん挙げていきたいと思いますが、事務局としても、そのような進め方でいいですよね？

**○事務局** そうですね。よろしいかと思います。今日の議論の中でも、事務局の方で挙げた4項目以外に、校名、校歌といった話がでてきました。教育目標や子どもたちが大切に思っているものというのは、条件として、どのような形で項目に位置付けるかは難しいところがあると思いますが、次回、今日の議論を踏まえて、事務局で、統合の条件として位置付ける項目を整理し、お示ししたいと思います。次回はそれをたたき台に、さらに加えるものはないかなどについて議論いただければと思います。

**○委員** 一点よろしいでしょうか。校名を変えるということは、校歌、校章、制服、バックなどがすべて変わるということだと思いますので、そうした影響の広さも考えていかなければならないと思います。

**○部会長** ありがとうございます。委員が言ったとおり、様々な影響があるということも示しながら、教育環境部会として、検討委員会本体に上げたいと思います。最後に、事務局から今後のスケジュールなど、事務連絡をお願いします。

**○事務局** 次回の日程についてですが、11月17日木曜日に開催したいと思っています。時間は本日同様18時から、場所についても本日同様、婦人センター2階講堂を予定しております。次回の協議の内容につきましては、さきほど申しあげましたように、今回の議論を踏まえて、事務局で統合の条件として位置付けるべき協議項目を整理し、お示ししますので、これを基にさらに議論いただければと思いま

す。さらに、「通学方法・通学手段」については、最も良いと思われる方法を条件に位置付ける必要があると思いますので、次回は通学方法に関し議論いただきたいと思っています。

**○部会長**      ありがとうございます。

**○委員**      17日の夜に別の予定があって出席できませんので、いま少しかだけお話しさせていただきます。通学方法・通学手段の部分ですが、いまカルルス地区からは、小学校はスクールバスで、中学校は路線バスを利用して登下校しているわけですが、東日本大震災の際には、学校から保護者に対して、迎えに来て欲しいという連絡がありました。午後3時くらいに地震が発生し、子どもたちを一時避難させて、その後保護者への連絡があったように記憶しておりますが、保護者には仕事がありますので、すぐには迎えに行けないかもしれない。東日本大震災の際は、かなりの緊急事態でしたので、まずは子どもの安否を確認したいということで、仕事よりも優先して迎えに行きましたが、今後あり得るのは、例えば幌別地区で不審者が出て、集団下校となった場合に、どのような対応をとることになるのか。東日本大震災の際と同様に、保護者の迎えということになれば、仕事の事情などによって、学校で長時間待たされるケースも生じてしまいますので、前提条件ということでも構いませんので、そうした突発的事態が生じた際にどのような対応をとるのかも含めておしえていただければと思います。

**○部会長**      ありがとうございます。それではこれで「登別中学校 学校適正配置に関する地区別検討委員会」の第8回会議を終了したいと思います。皆さん、長時間にわたりありがとうございました。